

口腔顎顔面外科学講座
口腔病態外科学講座

講座名	口腔顎顔面外科学講座、口腔病態外科学講座	
主任教授	口腔顎顔面外科学講座:柴原 孝彦 口腔病態外科学講座:片倉 朗	
プログラム責任者名	片倉 朗	
プログラム修了時に資格要件を満たす学会認定医等の名称	(公)日本口腔外科学会認定医 ・上記を第一ステップとして、以下に示す学会の認定医も取得可能 (公)日本老年歯科医学会 (社)日本口腔診断学会 (社)日本有病者歯科医療学会 (社)日本顎顔面インプラント学会 (公)日本がん治療認定医機構 (社)日本口腔腫瘍学会	
プログラムの特色		
水道橋病院口腔外科は2つの講座が共同で領域の隔たりを設けず診療科を運営している。2講座を合わせて別記のように多くの(公社)口腔外科学会指導医、専門医を有し、後進に対してきめ細かな指導に当たっている。研修プログラムでは、これらの利点を活かし疾患の偏りなく口腔外科全般にわたっての知識・技能を習得することが可能である。日常的に診療を行うことで研修プログラムを達成することが可能で、通常は提示した期間で(公社)日本口腔外科学会の認定医が取得可能である。さらに研修修了後は専門医の取得を目指し診断と治療ならびに医療人としての人格を陶冶し、関連施設におけるリーダーポジションの役割も担えるレベルの人材育成を目標としている。		
プログラムの内容		
入局後	大学院生	臨床専門専修科生・レジデント
1年目	・4月～7月までの4か月間は講師以上の指導医に1カ月毎ローテーションで研修を行う。見学と介助を行い、医療面接、カルテ記載、各検査オーダー、処方箋記載などを習得する。また、指導医が人格、技量を見据えた上で一診療中の実施可能な部分を担当することがある。 ・他科(歯科麻酔科)の研修を行う。 ・初期研修を修了した8月から指導医(8年目以上の執刀医で幹部会の承認を得た者)の指導下に配当を開始する。 ・隔週で抄読会を行い、知識の研修を行う。	・4月～7月までの4か月間は講師以上の指導医に1カ月毎ローテーションで研修を行う。見学と介助を行い、医療面接、カルテ記載、各検査オーダー、処方箋記載などを習得する。また、指導医が人格、技量を見据えた上で一診療中の実施可能な部分を担当することがある。 ・他科(歯科麻酔科)の研修を行う。 ・初期研修を修了した8月から指導医(8年目以上の執刀医で幹部会の承認を得た者)の指導下に配当を開始する。 ・隔週で抄読会を行い、知識の研修を行う。

口腔顎顔面外科学講座
口腔病態外科学講座

2年目	・助教以上の指導医とともに外来にて患者の診療を行う。 ・病棟での研修を3～6か月行う。手術室にて一診療中の実施可能な部分を担当する。また、入院患者の管理について研修する。 ・隔週で抄読会を行い、知識の研修を行う。 ・1年間に1回を目安に学会発表を行う。	・助教以上の指導医とともに外来にて患者の診療を行う。 ・病棟での研修を3～6か月行う。手術室にて一診療中の実施可能な部分を担当する。また、入院患者の管理について研修する。 ・隔週で抄読会を行い、知識の研修を行う。 ・1年間に1回を目安に学会発表を行う。
3年目	・助教以上の指導医とともに外来にて患者の診療を行う。 ・病棟での研修を3～6か月行う。手術室にて一診療中の実施可能な部分を担当する。また、入院患者の管理について研修する。 ・隔週で抄読会を行い、知識の研修を行う。 ・臨床技能、知識が十分であると判断されたものは、(公)日本口腔外科学会認定医試験資格を取得。 ・1年間に1回を目安に学会発表を行う。	・助教以上の指導医とともに外来にて患者の診療を行う。 ・病棟での研修を3～6か月行う。手術室にて一診療中の実施可能な部分を担当する。また、入院患者の管理について研修する。 ・隔週で抄読会を行い、知識の研修を行う。 ・臨床技能、知識が十分であると判断されたものは、(公)日本口腔外科学会認定医試験資格を取得。 ・1年間に1回を目安に学会発表を行う。
4年目	・助教以上の指導医とともに外来にて患者の診療を行う。 ・病棟での研修を3～6か月行う。手術室にて一診療中の実施可能な部分を担当する。また、入院患者の管理について研修する。 ・隔週で抄読会を行い、知識の研修を行う。 ・臨床技能、知識が十分であると判断されたものは、(公)日本口腔外科学会認定医試験を受ける。 ・学位のための論文審査を受ける。	・助教以上の指導医とともに外来にて患者の診療を行う。 ・病棟での研修を3～6か月行う。手術室にて一診療中の実施可能な部分を担当する。また、入院患者の管理について研修する。 ・隔週で抄読会を行い、知識の研修を行う。 ・臨床技能、知識が十分であると判断されたものは、(公)日本口腔外科学会認定医試験を受ける。 ・1年間に1回を目安に学会発表を行う。
5年目		・助教以上の指導医とともに外来にて患者の診療を行う。 ・病棟での研修を3～6か月行う。手術室にて一診療中の実施可能な部分を担当する。また、入院患者の管理について研修する。 ・隔週で抄読会を行い、知識の研修を行う。 ・臨床技能、知識が十分であると判断されたものは、(公)日本口腔外科学会認定医試験を受ける。 ・1年間に1回を目安に学会発表を行う。
6年目以降		

- 本務教員で認定医等の有資格者
(指導医・専門医・認定医等の複数の資格の場合には最上位の資格のみを記載)

(公)日本口腔外科学会

指導医:柴原孝彦、高野正行、片倉 朗

専門医:笠原清弘、渡邊 章、別所央城、村松恭太郎、菅原圭亮

認定医:村山雅人

(公)日本がん治療機構認定

暫定教育医(歯科口腔外科):柴原孝彦、高野正行、片倉 朗

(公)日本老年歯科医学会

指導医:柴原孝彦、高野正行、片倉 朗

(社)日本小児口腔外科学会

指導医:柴原孝彦

(社)日本有病者歯科医療学会

指導医:柴原孝彦、片倉 朗

(社)日本口腔診断学会

指導医:高野正行、片倉 朗

(社)日本顎顔面インプラント学会

指導医柴原孝彦、高野正行、片倉 朗

(社)日本口腔腫瘍学会

暫定指導医:柴原孝彦、片倉 朗

(社)日本抗加齢医学会

専門医:笠原清弘

日本顔面神経機能学会

口唇・舌感覚異常判定認定医:高野正行

ICD制度協議会

インфекションコントロールドクター:片倉 朗、高野正行、笠原清弘、菅原圭亮